

秋の交通安全運動始まる

9月18日、町交通安全協会（藤田裕三会長）は秋の交通安全祈願祭を行い、交通繁忙期の町内事故ゼロを祈願しました。

町内北町1の道道沿いコミュニティパークにある交通安全観音像の前には、町内各会の代表や交通安全

指導員ら約80人が出席しました。

松岡市郎町長は「この時期は通勤帰宅時間、農作業からの帰りに事故になりがち。家庭から、職場から、地域から、学校から、それ



ぞれルールをしつかり守る取り組みが大切」と事故防止を呼びかけました。藤田会長は「毎年150件以上の物損事故が起きている。非常に多い。小さな事故を減らさなければダメ。町民の安全意識が少しずつ上がるよう

な運動をしたい」と商店街の戸別ロー作戦で交通事故防止を訴えました。

町内の死亡交通事故は、15日現在、2年前の8月4日以来774日間ゼロ更新しています。秋の交通安全運動は30日まで10日間行われました。

11区フラワー愛好会が最優秀賞

「花フェスタ2007旭川」コンクール（旭川市、北海道新聞社など主催）の街並み花壇部門で、東川町11区フラワー愛好会（川元節子会長）がこのほど、みごと最優秀賞を受賞しました。

街並み花壇は、道路、公園などの公共施設花壇も審査対象。それだけにハイレベルな仕上がりが多いのが特徴。その応募39件の中からトップ受賞です。



11区フラワー愛好会の皆さん

体の部連続優勝。02年に上川支庁から住民運動実践功労者表彰を受賞しています。

翌年には、道の「第2回わが村は美しくー北海道」運動で景観部門表彰を収め、05年から花フェスタ応募3回目での快挙。デザイン担当の渡辺慶子さん（68）は「大きな花壇（2・7畝×25・5畝）を7つのブロックに仕切り、中心

にサルビアで太陽を配し、左右対称にカラフルに仕上げたのがよかった」。

今年にはひがしかわ花俱樂部（大石久子キャプテン）も優秀賞（11団体）を受賞し、町内の花いっぱい活動のレベルの高さが評価された格好です。

今年も大好評！「ほしのゆめ」新米キャンペーン

出来秋を迎えた9月16日、キトウシ森林公園で、町、町農協などが共催の東川産「ほしのゆめ」新米キャンペーンが開かれました。

早くから予約が殺到し、500俵（1俵60キログラム）以上に達しました。昨年より1・5倍以上もの予約量です。購入予約者が旭川市内などから訪れ、8レーンに仕切った引き渡し会場にマイカーの列。用意した新米は午前中ではほぼ完売しました。

会場では、楽しいゲームもいっぱい。

じゃんけんゲームⅡ写真Ⅱで新米「ほしのゆめ」10キログラムを勝ち取った旭川市内の中島恵美子さん（78）は



「買いたいと思っていたからうれしい」と思わぬプレゼントに言葉を弾ませました。

同じく旭川市内から来た大城崇弘君（9つ）は、3千円相当の野菜詰め合わせセットを勝ち取り「やったー！」。

町内産の東川米は今年、札幌生協に出荷する農協予約販売量だけでも、昨年より20%以上多い約10万俵。国内大手GMS（ゼネラル・マーチャндаイジング・ストア）Ⅱ総合スーパー（マークエット）からの新規買入れ申し込みを断ったほど、人気が上がっているということだ。